

鎌倉市立御成小学校旧講堂保存活用計画案に係る意見及び市の考え方

No	区分	意見内容	市の考え方
1	活用方法	学校や子どもたちのためによりよい活用を望む。 そこで心が安らげるような木造でよい建物を造っていただきたい。	旧講堂の保存活用の基本方針として、学校施設として活用することを前提としており、御成小学校の課題を解決する活用方法を検討しています。御成小学校及び子どもたちにとって望ましい活用をしていきます。
2	活用方法	御成小学校の敷地内の施設であり、在校生のためになる施設として活かしてほしい。子どもたちにとって何のメリットもない施設を、ただ過去の遺産として引き継ぐことには反対である。生徒増により不足することのある教室として、また外で遊べない雨の日でも休み時間に自由に遊べない体育館の補完施設として、その他子どもたちが楽しめる芸術や文化、講演などを快適に受け入れられる空間として、御成小学校に旧講堂があつてよかつたと思える建物として保全修繕をお願いしたい。 もちろん市民一般に貢献する設備であつてほしいけれど、まず子どもたちにとって有意義な設備ができれば、それを広く市民に展開していく方法も見えてくる。 歴史ある建物を未来に継承すると決まつたからには、ぜひ積極的に最先端技術を投じるなど鎌倉市の未来ビジョンを示すランドマークにしていきたい。	旧講堂の保存活用の基本方針として、学校施設として活用することを前提としており、御成小学校の課題を解決する活用方法を検討しています。御成小学校及び子どもたちにとって望ましい活用をしていきます。
3	活用方法	教室不足と聞いていたので、現実的なプランだと思う。 多目的スペースのあり方については、オープンイノベーションの姿勢で、ぜひ意見交換の場を設けていただきたい。しばらくは教室利用が主体だと思うが、広い視野で、数十年という単位で近代建築や地域の場というものがあるべきか、議論すべきだと思う。	御成小学校の課題を解決する活用方法を検討しています。御成小学校及び子どもたちにとって望ましい活用をしていきます。活用の一つとして考えている「多目的室」とは、すでに多くの学校で設置されているような様々な授業のカリキュラムに活用できる教室を想定しています。 将来、教室等としての利用が必要なくなった場合などは、活用方法について改めて市民の方々の意見を伺うことが必要であると考えています。

4	活用方法 防火対策	登録文化財にすること、構造計算は限界耐力計算で行ったことなどが書かれており、極端な構造補強をせずに済みそうで、まずはよかった。強いて言えば保存活用方針の④に対する具体像が見えないこと(なんとなく当面の利用方法は過渡的なものと考えているように感じられる)と、西側を中心とする外壁、軒天の防火構造への改変はもう工夫欲しい気がした。(たぶん「その他条例」を使って建築基準法の適用除外をすることも検討していると思うが)	旧講堂の保存活用の基本方針として、学校施設として活用することを前提としており、御成小学校の課題を解決する活用方法を検討しています。御成小学校及び子どもたちにとって望ましい活用をしていきます。旧講堂は木造建築で、延焼性が高い建物であることから、防火対策には特に配慮した計画としています。
5	活用方法 展示	日中は特別教室、放課後は学童保育、休日は市民開放が望ましいと思う。旧講堂の歴史や御成の地の歴史を学べるコーナーが必要である。引き続き、市民の意見も聞きながら、丁寧に進めて行っていただきたい。	学校施設という枠組みの中で活用できる範囲について検討します。旧講堂の歴史を伝えていく手法について検討していきます。
6	活用方法 フェンス	旧図書館との関係で、講堂側にも提案しておきたい事が二つある。 ①御成門から、旧図書館子どもの家、講堂の市民解放時、御成小登校の三つを共用できるようにする。そのため、現在御成門の内側にあるフェンス門をもう少し後退させ、その前方で旧図書館子どもの家、講堂への動線を設定し、一般者が用なく御成小の中に入らないようにする。 ②講堂の利活用は音楽、図工等の特別教室とし、休日等の市民利用もできるようにする。普通教室だと生徒の私物もあつたりして、市民利用が無理と思われる。	現在、御成門の内側に防犯のためフェンスのゲートを設置していますが、ゲートの後退については、防犯の観点から課題があるものと考えます。旧講堂には2つの特別教室等を設置する予定であり、学校施設という枠組みの中で活用できる範囲について検討します。
7	展示 フェンス	御成門、旧鎌倉図書館と一体となった御成遺産としての価値が活きるよう、御成門の内側にあるフェンスゲートを後退させるよう要望する。建物周辺に残るクスを始めとする数々の大木は伐採することなく、むしろそれらが活きる建築計画となるよう要望する。御成小学校の歴史文化的価値について御成小児童はもちろん、市内外の市民が広く共有できるよう、土地の由来を記す銘板や発掘結果を展示するための常設展示室を設けるよう要望する。	現在、御成門の内側に防犯のためフェンスのゲートを設置していますが、ゲートの後退については、防犯の観点から課題があるものと考えます。御成小の歴史を伝える旧講堂の改修に当たっては、現在のところ樹木を伐採する予定はありません。御成小の歴史を伝えていく手法について検討していきます。

8	大規模空間	<p>講堂は外観に価値を置くにとどまらず、中に入った際の空間も全てを含めて価値を置くのが妥当と考える。入れ子式で可動式の教室とはいえ使用開始の後は仕切った状態が常になる可能性が高い。児童数の変動が今後どのように変わっていくかは不明だが、既存の校舎に設置された教室数での調整は不可能ではないと思うので、講堂は広い空間のままでの活用を検討してほしい。</p>	<p>旧講堂の保存活用の基本方針として、学校施設として活用することを前提としており、御成小学校の課題を解決する活用方法を検討しています。 将来、教室等としての利用が必要なくなった場合などは、創建時への復原が検討できるような最小限の改変とし、旧講堂の文化財としての価値に配慮します。</p>
9	一般開放	<p>旧鎌倉周辺にはコンサートホールが少なく、大小さまざまな集まり、イベント、コンサート、発表の場に活用してほしい。 木造は使ってこそ価値が出てくるので、オープンにして、市民の憩いの場、交流の場としても考えてほしい。</p>	<p>コンサートホールのような活用をするためには、大きな改変が必要となって、文化財としての価値を損なう改修をしなければならないため、難しいものと考えています。学校施設という枠組みの中で活用できる範囲について検討します。</p>
10	一般開放	<p>子どもたちはもちろん、市民のために鎌倉を代表する建築にふさわしい保存活用を望む。 子どもたち、市民のための講演、コンサートなど講堂らしい活用をしていただきたい。</p>	<p>コンサートホールのような活用をするためには、大きな改変が必要となって、文化財としての価値を損なう改修をしなければならないため、難しいものと考えています。学校施設という枠組みの中で活用できる範囲について検討します。</p>
11	一般開放	<p>①利用対象者 ・平日8時から17時 御成小学校児童及びその関係者 ・土、日、祝、長期休暇 地域に解放 ②管理方法 ・平日 御成小学校 ・土、日、祝、長期休暇 一般社団法人御成小学校講堂やエリマネ団体などを作り管理を委託する。 ③利用方法 ・平日 御成小学校で必要とする教科や行事で利用 ・土、日、祝、長期休暇 イベント、発表会、展覧会、講演会、地域住民の集会など地域活性化につながる催しを中心とした利用 ④御成小学校が使わない時間は一般開放し、民間活用を行うことで、講堂の維持管理費を捻出するようにする。</p>	<p>イベントを行うホールのような活用をするためには、大きな改変が必要となって、文化財としての価値を損なう改修をしなければならないため、難しいものと考えています。学校施設という枠組みの中で活用できる範囲について検討します。</p>

12	<p>一般開放 展示</p> <p>改修方法</p> <p>防火対策</p> <p>寄附</p>	<p>保存活用計画案がしっかりした考えの基にまとめ、安堵した。このことを念頭にぶれず、さすがは鎌倉といわれる保存をお願いしたい。</p> <p>御成小学校だけに多額の費用を使うことは、市民が納得しにくいと思う。そのために講堂本来の姿での開かれた市民活用を。旧市内では学習センターと商工会議所しかホールがなく不便であることから、学校使用を第一とするが、市民活動の場としても使用していただきたい。(維持管理のため使用料を徴収)</p> <p>できるかぎり木造での修復で、建物のある姿を保っていただきたい。</p> <p>旧講堂の成り立ちなど詳しい説明書きを表示してほしい。古代・中世のジオラマを展示してほしい。</p> <p>音響や他の設備を最新のよい物にしてほしい。</p> <p>火災にはくれぐれも注意し、最善の管理をお願いしたい。</p> <p>屋根は風格のためにも全体に合った屋根材にしてほしい。搭屋のさびをなくしてほしい。</p> <p>寄附した方の名前を旧講堂の一部に記載してほしい。また、改修が市民の寄附等で実現したことをアピールしてほしい。</p>	<p>学習センターのホールのような活用をするためには、大きな改変が必要となって、文化財としての価値を損なう改修をしなければならないため、難しいものと考えています。学校施設という枠組みの中で活用できる範囲について検討します。</p> <p>旧講堂の歴史を伝えていく手法について検討していきます。</p> <p>旧講堂は木造建築で、延焼性が高い建物であることから、防火対策には特に配慮した計画としています。</p> <p>屋根については、構造耐力上の負荷の観点から金属板葺きを考えていますが、旧講堂に調和した色合いにするとともに、搭屋も改修後の旧講堂に調和するよう改修を行います。</p> <p>ご寄附いただいた方々の周知については、お名前を公表することを事前に示していないため今後検討します。</p>
13	<p>一般開放</p> <p>大規模空間</p> <p>トイレ</p>	<p>現状有姿の外観保存案は特に景観上の配慮からもよい。耐震対策、防災計画も含め基本方針も概ねよいが、具体案として特別教室、多目的教室という考えは具体性に乏しく、用途不明瞭に思う。</p> <p>「多目的」なら何か中核になるような機能(用途)を持たせるような配慮が必要ではないか。映画館やコンサート会場のインフラのようにイスがすべて収納でき、フラットな空間ができれば多目的化は可能だが、用途を充実させるためのインフラがないとただの地域集会場のような施設になってしまうと思う。</p> <p>講堂はステージの大きさに見合わせて天井の高さや空間としての広さのバランスを確保していると思うので、できれば従来のホール面積を確保してほしい。</p> <p>後方に開放施設とした場合のトイレが確保されているが、ステージ側の諸室に会議室が4つあり、全室が常に使用されることもないと思われるので、2つ削ってこちら側にトイレを確保してもよいのではないか。</p>	<p>活用の一つとして考えている「多目的室」とは、すでに多くの学校で設置されているような様々な授業のカリキュラムに活用できる教室を想定しています。</p> <p>コンサートホールのような活用をするためには、大きな改変が必要となって、文化財としての価値を損なう改修をしなければならないため、難しいものと考えています。学校施設という枠組みの中で活用できる範囲について検討します。</p> <p>旧講堂の保存活用の基本方針として、学校施設として活用することを前提としており、御成小学校の課題を解決する活用方法を検討しています。御成小学校及び子どもたちにとって望ましい活用をしていきます。</p> <p>トイレの設置予定箇所は、すでに大きく改変され、創建時の意匠が残されていない箇所であり、現在トイレが設置されていて給排水がある程度整っています。ご指摘の位置に増設するには新たな給排水のほか、創建時の意匠をよく残している箇所に大きく改変を行うことになり、文化財としての価値を損なってしまうためふさわしくないと考えています。</p>

14	一般開放 改修方法	<p>学校施設として用いるとの計画には賛成だが、市民の文化交流の場として活用できないか検討してほしい。コンサート、文化祭、展示会の開催ができないか、何か方策がないか検討してほしい。</p> <p>旧講堂の復原をきちんとしてほしい。屋根を当初の素材に戻し、壁や玄関も創建当時のものに復元してほしい。</p> <p>旧講堂の歴史を語る資料も資料館として展示してほしい。</p>	<p>コンサートホールのような活用をするためには、大きな改変が必要となって、文化財としての価値を損なう改修をしなければならないため、難しいものと考えています。学校施設という枠組みの中で活用できる範囲について検討します。</p> <p>改修に当たっては、旧講堂の文化遺産としての価値を損なわないように配慮します。</p> <p>屋根については、構造耐力上の負荷の観点から金属板葺きを考えていますが、旧講堂に調和した色合いにするとともに、搭屋も改修後の旧講堂に調和するよう改修を行います。</p> <p>旧講堂の歴史を伝えていく手法について検討していきます。</p>
15	文化財としての保存 一般開放	<p>現在のニーズに合わせて小学校の施設として活用することはよい。ただし、建物を残す意図は、近代建築を文化財として残すことである。時代の変化の中で、現在は小学校の教室として利用するものの、将来的には近代鎌倉の文化財として保存していくのであるということをプレートなどに刻んで建物の価値を顕彰することにより、国登録有形文化財に具申することに対する鎌倉市としての保存の意思を確認していただきたい。</p> <p>市内NPOの方々から、現在、市内で100人から200人の子どもたち、市民を集めて講座を行う施設が不足していると聞いており、休日などにパーティーを広げるなどして講座や音楽の演奏会などが開ける文化ホールとして使用できるようにしてほしい。</p> <p>出入口をガラス戸にする計画だが、将来的に木の扉に戻せるように設置方法を検討し、また、現在の扉の保存も検討していただきたい。</p>	<p>将来、教室等としての利用が必要なくなった場合などは、創建時への復原が検討できるよう最小限の改変とし、旧講堂の文化財としての価値に配慮します。</p> <p>文化ホールのような活用をするためには、大きな改変が必要となって、文化財としての価値を損なう改修をしなければならないため、難しいものと考えています。学校施設という枠組みの中で活用できる範囲について検討します。</p>

16	<p>一般開放</p> <p>展示</p> <p>改修方法</p>	<p>旧講堂が末永く人々に愛され、生き活きとした場所となり、皆が広く使える場所となることを願い、鎌倉市の基本方針の方向性に賛同する。このまま計画が順調に進み、在校生でなくても旧講堂を折々に利用できる日が来ることを心より望んでいる。</p> <p>旧講堂を鎌倉の貴重な文化遺産を代表するの物の1つとして、本来の使用法に加えて、建物のことや、過去(古代・中世の今小路西遺跡～御用邸～御成小学校となったこと)から現在までのこと(御成小学校の歴史やヘレン・ケラーの講演会のこと、校舎の改築等)、御成遺産として旧鎌倉図書館～御成門～旧講堂のこと、旧講堂の模型なども展示して、鎌倉大工のことや建物の部位の説明(格天井、塔屋や懸魚など……)を学べるスペースを数ヶ所つくり、子どもたちやここを訪れる人々が、実物を見ながら楽しみ学べる場となるとよい。そのために、会議室や特別教室の一部や壁面を利用したらよいと思う。</p> <p>また、様々な遊び心のある工夫をしていただけたらと思う。例えば</p> <ul style="list-style-type: none"> ・随所に当時の構法やどのように修復・補強したかわかるような一部分が見られるようにする。 ・秘密基地のように屋根裏にも安全に利用できるスペースを設け、有効利用する。 ・塔屋に上がって隙間、若しくは眺望用の穴や小さな窓を作り、そこから鎌倉の街を眺められるようにする。 ・2つの特別教室上のスペースも教室の横等に階段をつけて教室の上部に上がれるようにし、広い中2階として利用できるようにする。その際、天井を半透明などの素材を使い教室の中に光が差し込むようにする。教室の上にもスペースができれば、間近で格子天井を見たり上部の窓の構造が見られる。ここに模型などをおいてもよいのではないか。 ・階段の代わりに、特別教室の舞台側の壁を大きな階段状)にして舞台の観客席と中2階に上がるスペースとしても利用できるようにする等 <p>用具置き場や控え室のプレート等も味わい深いので、当時の名残として残してもよいように思う。</p>	<p>イベントを行うホールのような活用をするためには、大きな改変が必要となって、文化財としての価値を損なう改修をしなければならぬため、難しいものと考えています。学校施設という枠組みの中で活用できる範囲について検討します。</p> <p>旧講堂の歴史を伝えていく手法について検討していきます。</p> <p>ご提案いただいた旧講堂の仕様については、安全面や学校の要望を踏まえた上で、今後、設計の中で検討していきます。</p>
----	-----------------------------------	--	---

16 の 続き		<p>演壇の演台や卒業生の校歌の作品などもそのままに利用、展示してほしい。</p> <p>また、今回の工事や今後の維持のための寄付を募り、実際に見ることができるところに寄付者の銘板を付ける。今回の保存計画を機に旧講堂のメンバーシップやサポーター制度等を作る等も検討されてはいかがか。</p> <p>本来なら、学校施設としてでなく、広く一般利用として使える場所となるとよいと思っているが、当面の間、一般利用は御成小学校の子どもたちが使用しないときに限り検討されるようだが、できるだけ子ども以外も利用できる機会が多くなることを望む。コンサートや会合、建物の見学ツアー等様々な機会があるとよい。気軽に入って一休みできるような憩いの場になってほしい。</p> <p>旧鎌倉図書館等とともに、御成の地が「御成遺産」として認知され、この一帯が歴史深い場所として、皆の身近にある親しみの持てる場所として、子どもたちやその子どもと末永く利用し続けられるとよいと考える。</p>	
17	施設のあり方	<p>旧講堂が貴重な建造物とするならば、学校施設として扱わない、教育委員会、学校施設課の対象外とすべきであり、教育と切り離して保存を考えるべきである。</p> <p>教育委員会、学校施設課に関する予算は、保存に充当すべきでない。保存の予算が確保できないなら、保存はあきらめるべきである。</p> <p>歴史上、建築された目的は何なのか、使用目的は達成されて、建築物の役割は終わっていると考えるべきである。</p> <p>鎌倉女学院、清泉小・中・高等学校、栄光学園、鎌倉学園、北鎌倉女学院など市内の学校は、未来志向の教育方針に従ってカリキュラムを検討し、校舎、学校施設は有名建築家の手を借りたり、海外の研修を行ったりしている。特別に優れた教育環境にある御成小学校のロケーションを活かす学童の教育方針を重要視すべきである。</p> <p>御成小学校のキャンパスは、旧講堂と切り離して新しい学童の教育方針に従って、平成の学童を迎えるべきである。</p>	<p>旧講堂の保存活用の基本方針として、学校施設として活用することを前提としており、御成小学校の課題を解決する活用方法を検討しています。御成小学校及び子どもたちにとって望ましい活用をしていきます。</p>

18	施設のあり方	<p>資生堂工場でのマンション計画で大船小もパンク、小坂小、山崎小もいっぱいだと大船地域の学校の方が問題を抱えているのに、なぜ建替えをしたばかりの御成小にさらに教室不足の対策でお金を掛けるのか。 児童やクラス増を理由に示しているが、倍近くかい離しているようだが、計画が甘かったのではないか、その責任はどこにあるのか。 このようなお金を掛けて、場当たりのな対策で済むのか。 教室が足りないならお金を掛けずに学区を変えて対応すればよいがどうか。 津波対策はどのように考えているか。保存というが、津波が来て壊れることは仕方ないということか。 お金を掛けた施設を放課後や休日に一般に貸し出す計画はないのか。有料で貸し出ししたりしてお金を回収することは考えないのか。 そもそもお金を掛けてまで保存してほしいとは思わない。誰の意見で保存となったのか。</p>	<p>旧講堂を保存することについては、御成小学校の改築時に決定したものであり、この度その活用方法について検討した結果、御成小学校の課題を解決するために活用することとしたものです。 津波対策については、旧講堂は木造建築物であり、津波に対して強固な建物にすることは難しいですが、他の校舎と同様に御成小学校の「災害時における対応マニュアル」に基づき安全に避難誘導するものとします。 学校施設という枠組みの中で活用できる範囲について検討します。</p>
19	その他	<p>他に類のないよい環境である。 長い間旧講堂がそのままになっていて結論が出なかったのは残念であり、職員にもう少し愛を持っていただきたい。</p>	<p>旧講堂の歴史的・文化財的価値を踏まえた改修を行い、後世に伝えていくとともに、子どもたちにとって望ましい活用をしていきます。</p>
20	その他	<p>ゆっくりと時間が掛かってもよいので、予算を取っていただき、このままの状態に残していただきたい。 旧講堂内を見学しましたが、とても懐かしく思った。 日本の風土には木の家がよく、夏は涼しく冬は暖かく感じる。残り少ない貴重な建物をぜひ末永く残していただきたい。</p>	<p>旧講堂の歴史的・文化財的価値を踏まえた改修を行い、後世に伝えていくとともに、子どもたちにとって望ましい活用をしていきます。</p>
21	その他	<p>保存計画案を拝読し、とてもうれしいと感じた。 講堂の外観をしっかりと活かして、その保存に向けての補修が行われている現状が将来に向けて登録有形文化財の申請が早く下りるとよいと願っている。 改修されて木造建築の立派さが古都鎌倉の象徴的建築物として残ることを期待している。</p>	<p>旧講堂の歴史的・文化財的価値を踏まえた改修を行い、後世に伝えていくとともに、子どもたちにとって望ましい活用をしていきます。</p>

22	その他	<p>「鎌倉の歴史を学べる場所である」「人と人、人と文化の交流ができる」「年齢、性別を問わず誰でもいつでも利用できる」これらが御成遺産の一つ御成小旧講堂の保存活用に、建物の意義を本来の姿で活用できる。昭和初期の建物として冠木門、旧図書館と合わせて建物本来の使用方法とすることにより、単なるノスタルジックでなく、子どもたちに鎌倉の歴史を実際に見、体感することができ、生きた教材となることは、教科書では得られないものが学べるだろう。</p> <p>市民も交流する場所がほとんどない鎌倉にとって、この上ない場所になってくれる、市民から市外、県外、海外へ文化の発信ができる場となってほしい。</p> <p>トイレスペースも新たに設ける必要がないこともありがたい。</p>	<p>旧講堂の歴史的・文化財的価値を踏まえた改修を行い、後世に伝えていくとともに、子どもたちにとって望ましい活用をしていきます。</p>
23	その他	<p>新しく体育館を作らず前の体育館(旧講堂)を改装するだけでよいと思っていた。</p> <p>通路を学校から体育館(旧講堂)まで作ればよいと思った。</p> <p>景色としてとてもきれいだったので、学校を卒業する前に入りたかった。</p> <p>使えるようになったら入ってみたい。(御成小在校生)</p>	<p>学校施設という枠組みの中で活用できる範囲について検討します。</p>